

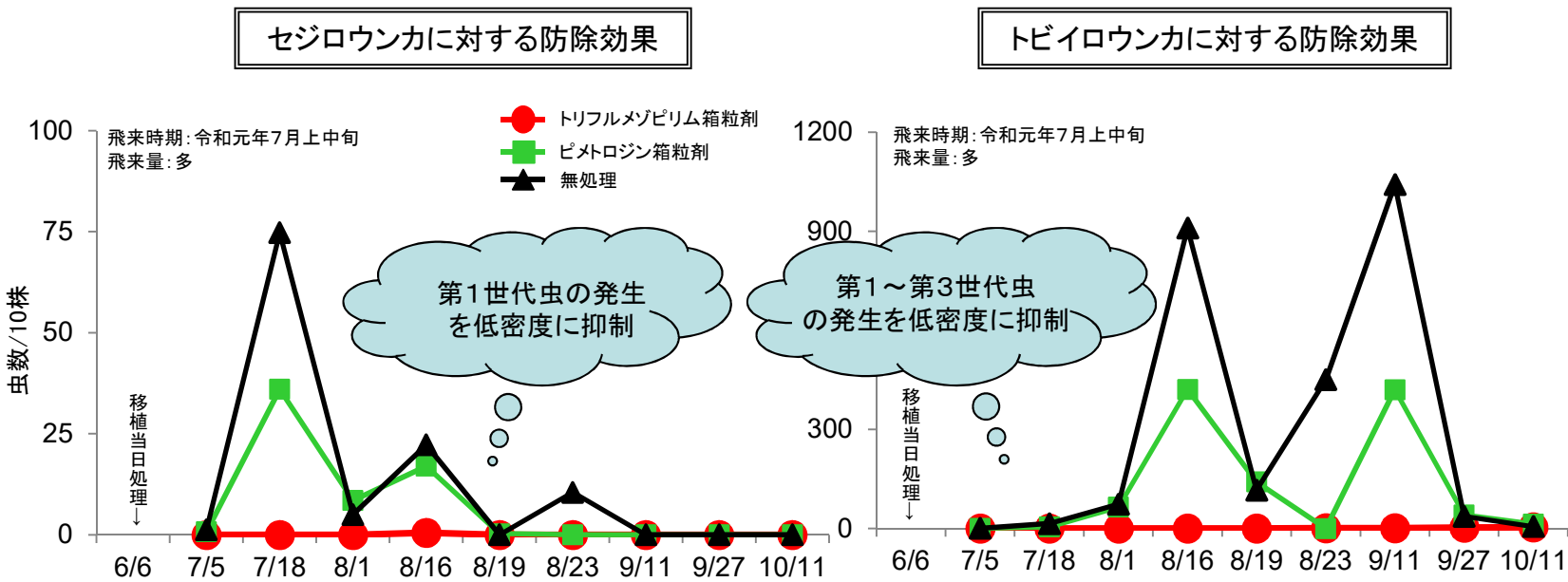
# トリフルメゾピリム剤の育苗箱施用によるイネウンカ類の密度抑制効果

普通期水稻の移植時に新規育苗箱施用剤トリフルメゾピリム剤を施用することで、イネウンカ類の密度を長期に抑制

## 背景・目的

- ・平成17年以降、イミダクロプリド剤等のイネウンカ類に対する防除効果が低下したため、普通期水稻栽培後期の防除が課題
- ・イネウンカ類に卓効を示すトリフルメゾピリム剤が開発されたため、育苗箱施用による防除効果と持続性の解明が必要

## 成果の内容



普通期水稻の移植時にトリフルメゾピリム剤の施用で、イネウンカ類の発生を栽培後期まで、低密度に抑制

導入メリット

- 被害・生育抑制の回避
- 媒介ウイルス病の予防
- 坪枯れ発生の防止
- 本田防除回数の削減

- 生産量の安定
- 省力・低コスト化

## 期待される効果

イネウンカ類による被害を軽減し、普通期水稻の生産量を安定化

普及対象・範囲  
普通期水稻生産者